

国
語注
意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄の余白は使用しないでください。
3. マークシート解答用紙は直接コンピュータにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはつきりとマークしてください。マークのしかた (良い例) ● (悪い例) ○ ⊗ ⊙ ⊖
5. (万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにしていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
8. 試験問題は問題冊子の10ページに記載されています。
9. 問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
10. 情報数理学科に出席している方は設問Ⅰと設問Ⅱ(A・B)を解答してください。設問Ⅲを解答する必要はなく、解答しても得点にはなりません。
11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読み、後の問に答えよ。

ことしの夏、信州のある温泉宿の離れに泊まっていたある夜の事である。池を隔てた本館前の広場で盆踊りが行なわれて、それがまさにたけなわなころ、私の二人の子供がベランダの籐椅子^{とう}に腰かけて、池の向こうの植え込みのすきから見える踊りの輪の運動を注視していた。ベランダの天井の電燈は消えていたが上がり口の両側の柱におのおの一つずつの軒燈がともし、対岸にはもちろん多数の電燈が並んでいた。

突然二十一歳になるAが「今火の玉が飛んだ」といいますと、十九歳になるBが「2」¹といってその現象の客観的実在性を証明するのであった。

そこで二人の証言から互いに一致する諸点を総合してみると、だいたい次のようなものである。

ベランダから池の向こうの踊り場を正視していたときに、正面から左方約四十五度の方向で仰角約四十度ぐらいの高さの所を一つの火の玉が水平に飛行したというのである。その水平経路の視角はせいぜい二三十度でその角速度は、どうもはっきりはしないが、約半秒程度の時間に上記の二三十度を通過したものらしい。

二人の目撃者の相互の位置は一問ほど離れており、また椅子の向きも少しちがっていたので、私は二人の各位置について、そのおのおの見たという光の通路の方向を実地見証してみた。そうして、その二人のさす方向線の相会するあたりに何があるかを物色してみた。すると、およその見当に温泉の浴室があり、その建物の高い軒下には天井の周囲を帯状にめぐらす明かり窓があつて浴室内の電燈の光に照らされたその窓が細長い水平な光の帯となつて空中にかかっている。どうも火の玉の経路がおおよそそれと同じ見当になるらしいのである。

ところで、だんだんによく聞きただしてみると、二人の証言のうちで一つ重大な点で互いに3するところがあるのを発見した。すなわち向かつて右のほうにいたAは光が左から右へ動くように思ったというのに左のほうにいたBはそれとは正反對に右から左へ動いたようだと主張するのである。この二人の主張がそれぞれ正しいとすると、これは問題の現象が半分は客観

的すなわち物理的光学的であり半分は主観的すなわち生理的錯覚的なものだという結論になる。この事がらがこの問題を解くに重要なかぎを与えるのである。

私は、数年前、高压放電の火花に関する実験をしているうちに、次のような生理的光学現象に気づきそれについてほんの少しばかり研究をした結果を理化学研究所彙報^注に報告したことがある。

長さ数センチメートルの長い火花を写真レンズで郭太^{かだい}した像をすりガラスのスクリーンに映じ、その像を濃青色の濾光板^{ろこうばん}を通して、暗黒にならされた目で注視すると、ある場合には光が火花の道に沿うて一方から他方へ流れるように見える。しかし実際はこの火花放電の経過は一秒の百万分一ぐらいの短時間に終了するという事が実験によって確かめられたので、到底肉眼でその火花の生長を認識することは不可能なはずである。それなのにそれが移動するように「見える」というのは、全くわれわれの眼底網膜に固有な生理的効果すなわち一種の錯覚によるものと考えるほかはないのである。そうして、この効果は暗黒にならされた目にあまり強くない光の帯が映ずる場合に特に著しいように思われたのである。

⁴この事実と、前述の二人の見たという火の玉の進行の現象とは何か縁がありそうに思われる。一つの可能性は、上記の浴室の軒の明かり窓の光が一時消えていたのが突然ぱつと一時に明るくなつたと仮定すると、その光の帯が暗がりになれていた人の横目には一方から一方に移動する光のように感ぜられたのではないかということである。火花の実験の場合においても、正視するときよりもむしろ少し横目に見るときにこの見かけの移動の感じが著しく、またその移動の方向が目の位置によって逆になるようであった。

5A、いかなる場合にいかなる方向に動くかという点についてはまだ充分詳しいことを調べたわけではなかったが、5B、実際はほとんど同時に光る光帯が、場合により右から左へ、あるいは左から右へ動くように見えうるという事実がある。これが現在の問題に対して一つの有力な手がかりになるのである。もともと火花の場合には光帯が現われるとすぐに消えるのに反して現在の場合では点火したきりで消えなかったとすると少し事がらがちがう。それで、後の場合でも同様な錯覚が生ずるかどうかは別に実験を要するわけである。

とにかく、これは一つの可能性を暗示するだけで実際はどうだかわからない。

。前記の浴室より、もう少し左上に当たる崖の上に貸し別荘があつて、その明け放した座敷の電燈が急に点火するときにそれをこっちのベランダで見ると、時によつては、一道の光帯が有限な速度で横に流出するように見えることがある。これはたぶんまつ毛のためやまた眼球光学系の^{こんてん}濁のために生ずるものかと思われる。それで、事によると「火の玉」の正体がこれであつたかもしれないと思われる。しかしこれだとすると、たいていは^{こうほう}光芒射出といったようなふうに見えるのであつて、どうも「火の玉」らしく見えそうもないと思われる。

そうかと言って、浴室の天井の電燈が一時消えていたというのは単なる想像であつて実証をたしかめたわけでもなんでもないから、結局この問題の現象はなんだかわからないということに帰着するのであるが、しかしこの出来事の上記の考察から示唆された一つの実験的研究を、ほんとうに実行してみることがはそうむだではあるまいかと思われる。たとえば、暗室の一点に被実験者をすわらせておいて、室のいろいろな場所のいろいろの高さにいろいろな長さや幅で、いろいろの強度と色彩をもつた光帯を出現させ、そうしてそれに対する被実験者の感覚を忠実に

してみたなら存外おもしろいかも思われるのである。

伊豆地震の時に各地で目撃された「地震の光」の実例でも、一方から他方へ光が流れたというような

がかなりたくさん

にあったが、これらもやはり前記の生理的効果で実験はほとんど瞬間的に出現した光帯を、錯覚でそういうふうに感じるのではないかと疑われるのである。とにかくそういうこともあるくらいだから、だれか生理光学に興味をもつ生理学者のうちにこの問題を取り上げてまじめに研究してみようという人があつたらたいへんにありがたいと思うので、それでわざわざ本紙のこの欄をかりてこのような夢のような愚見を述べてみた次第である。それでこの一編はもちろん学術的論文でもなんでもなくて、ただの随筆に過ぎないのであるが、だれかがこの中からちゃんとした論文の種を拾い上げ培養して花を咲かせるという事についてはなんの妨げもないであらう。

それとはにかく、われわれの子供の時分には、火の玉、^{ひとたま}人魂などをひどく尊敬したものであるが、今の子供らはいっこうに見くびってしまったてこわがらない。そういうものをこわがらない子供らを少しかわいそうな気もするのである。こわいものをたくさんにもつ人は幸福だと思ふからである。こわいもののない世の中をさびしく思ふからである。

問一 傍線部1「たけなわな」の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート a)。

- ① 盛り上がっている
- ② 解散しかけている
- ③ 予定通り進行している
- ④ 始まろうとしている
- ⑤ 竹と縄で囲われている

問二 空欄2に入るもっとも適切な言葉を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

- ① 大人げない
- ② 私も見た
- ③ 然^さもありなん
- ④ おまえを信じる
- ⑤ 二人の秘密だ

問三 空欄3に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート c)。

- ① 一致
- ② 論争
- ③ 相殺
- ④ 矛盾
- ⑤ 重複

問四 傍線部4「この事実」とはどういうことを指しているか。「火花」という言葉を必ず用い、記述解答用紙I4の解答欄に合わせて二十字以内で書け。

問五 空欄 5 A、5 Bに入る語の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート)。
d

① 5 A けれども 5 B いかにも

② 5 A けれども 5 B ともかくも

③ 5 A そもそも 5 B くしくも

④ 5 A もっとも 5 B いかにも

⑤ 5 A もっとも 5 B ともかくも

問六 空欄 6に入るもっとも適切な言葉を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート)。
e

① もう一つの可能性がある

② ここで閑話休題

③ 先に結論から述べたい

④ 変なことを思い出した

⑤ 真相はつぎのとおりだ

問七 二つの空欄 7に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート)。
f

① 実験

② 想像

③ 記録

④ 証言

⑤ 再現

問八 本文での筆者の主張にもっとも合致するものを次から選び、その数字をマークせよ（解答欄はマークシート g）。

- ① 「火の玉」が生理的光学的現象の一種であることは実験で証明されている。
- ② 「火の玉」のような現象は随筆というかたちでしか扱うことができない。
- ③ 「火の玉」のような問題を学術的論文として取り上げるのは愚かなことだ。
- ④ 「火の玉」のおそろしさをこれからも子供たちに伝え続けるべきである。
- ⑤ 「火の玉」という現象は現在までのところ科学的には説明されていない。

Ⅱ A 次の1～3の（ ）内のカタカナを漢字に直し、4～6の（ ）内の漢字の読みをひらがなで記せ(解答欄は記述解答用紙Ⅱ1～6)。

- 1 瀬戸の陶磁器や南部の鉄器は、(ジバ)産業の典型だ。
- 2 新たな(フニン)先での生活が楽しみだ。
- 3 事件の(ゼンヨウ)を知って戦慄した。
- 4 その会社は、実力があれば若手でも(登用)する。
- 5 この議案について(忌憚^{たん})のない意見をお聞かせください。
- 6 疑いを(躍起)になって否定する。

Ⅱ B 次の7～10の（ ）内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート h k)。

- 7 不測の事態に対(シヨ)する。

① 「シヨ」行無常	② 「シヨ」得制限	③ 税務「シヨ」長	④ 出「シヨ」進退	⑤ 残「シヨ」見舞い
-----------	-----------	-----------	-----------	------------
- 8 このたびの社会混乱については、(イ)政者の責任が大きい。

① 「イ」厳のある態度	② 「イ」囑状	③ 「イ」論はない	④ 違法行「イ」	⑤ 「イ」志が強い
-------------	---------	-----------	----------	-----------
- 9 AIの進化の速さは(キヨウ)異的である。

① 「キヨウ」天動地	② 「キヨウ」迫状	③ 即「キヨウ」演奏	④ 「キヨウ」化本部	⑤ 「キヨウ」合他社
------------	-----------	------------	------------	------------
- 10 規制(カン)和で活気を取り戻した。

① 「カン」督する	② 「カン」全無欠	③ 「カン」慢な動作	④ 「カン」境保全	⑤ 「カン」念的
-----------	-----------	------------	-----------	----------

Ⅲ

次の文章は、恋人の八十郎に死に別れた源五兵衛が、故郷を發つて高野山へと向かったところ、野原で小鳥をねらっている少年に出会った場面である。これを読み、後の問に答えよ。

さし竿の中ほどを取りまして、色鳥いろどりをねらひ給ひし事百たびなれども、一羽もとまらざりしを、ほいなき有さま、しばし見とれて、「さても世に、かかる美童もあるものぞ。その年の頃は過ぎにし八十郎に同じ。うるはしき所はそれに増りけるよ」と、後世ごせを取りはづし、暮がたまで詠めつくして、そのかたちかく立寄りて、「それがしは法師ながら、鳥さしてとる事をえたり。

その竿こなたへ」と、片肌ぬぎかけて、「諸々の鳥ども、この児人のお手にかかりて命を捨つるが、何とて惜しきぞ。さてもさても衆道のわけしらずめ」と、時の間に数かぎりもなく取りまゐらせければ、この若衆、外ほかなくうれしく、「いかなる御出家ぞ」と、問はせけるほどに、我を忘れてはじめを語りければ、この人、もだもだと泪ぐみて、「それゆゑの御修行、一しほ殊勝さ思ひやられける。是非に今宵は、我が笹葺ささふきに一夜」と、とめられしに、なれなれしくも伴ひ行くに、一かまへの森のうちに、きれ

いなる殿作りありて、馬のいなく音、武具かざらせて、広間をすぎて縁えんより梯かきはしのはるかに、熊笹くささむらむらとして、その奥に庭籠にほこありて、はつがん、唐鳩からばと、金鶏きんけい、さまざまの声なして、すこし左のかたに中二階、四方を見晴し、書物棚しをらしく、ここは不斷の学問所とて、これに座をなせば、めしつかひのそれぞれをめされ、「この客僧は我が物読みのお師匠なり。よくよくもてなせ」とて、かずかずの御事おんことありて、夜に入れば、しめやかに語り慰み、いつとなく契りて、千夜ちよとも心をつくしぬ。

明くれば別れをしみ給ひ、「高野のおぼしめし立ち、かならず下向の折ふしは、又も」と、約束ふかくして、互に泪くらべて、人しれず、その屋形やかたを立たたぬけるに、「あれはこの所の御代官」と、しかじかの事をかたりぬ。「さては」と、お情なさけうれしく、都にのほるも

6

、過ぎにし八十郎を思ひ出し、又、かの若衆の御事のみ。

(井原西鶴『好色五人女』より)

注一 後世ごせを取りはづし 後世を願う心も忘れはてて。

注二 笹葺ささふき 屋根を笹の葉で葺いたみすばらしい家。自分の家を謙遜している。

注三 梯かへし 渡り廊下。

注四 庭籠にはこ 庭にすえておく大きな鳥籠。

問一 傍線部1「はいなき有さま」の文中の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート 1)。

- ① 楽しそうな様子 ② 不思議がる様子 ③ 懲りない様子 ④ 残念そうな様子 ⑤ 苛立っている様子

問二 傍線部2「兎人せうじん」が指す人物と同じ人物を指している文中の言葉を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート m)。

- ① 八十郎 ② 法師 ③ 若衆 ④ めしつかひ ⑤ 客僧

問三 傍線部3「いかなる御出家ぞ」の文中の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート n)。

- ① どういうお坊さんでいらっしやいますか
② どのようなことをお望みですか
③ どのようにして鳥を捕る術を身に付けたのですか
④ どのようにしてここまでやってきたのですか
⑤ どうして手伝ってくださったのですか

問四 傍線部4「是非に今宵は、我が笹葺ささふきに一夜」と述べた理由としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ

(解答欄はマークシート 0)。

- ① 修行のこれまでの道のりを聞き、たまった疲れを癒してほしかったから
- ② 修行のこの先の道のりを聞き、体を休めてほしかったから
- ③ 修行の内容を聞き、見る価値のある笹葺を訪れてほしかったから
- ④ 修行の話が尽きず、続きをゆっくり聞きたかったから
- ⑤ 修行のわけを聞き、一段とありがたみを感じたから

問五 傍線部5「高野かうやのおほしめし立ち、かならず下向げかうの折ふしは、又も」の現代語訳を「下向」を別の語に変えて、記述解答用紙Ⅲ5の解答欄に合わせて十五字以上、二十字以内で書け(句読点も一字と数える)。

問六 空欄6にあてはまる言葉としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート P)。

- ① かなはず
- ② はかどらず
- ③ まよはず
- ④ めぐりあはず
- ⑤ はからず